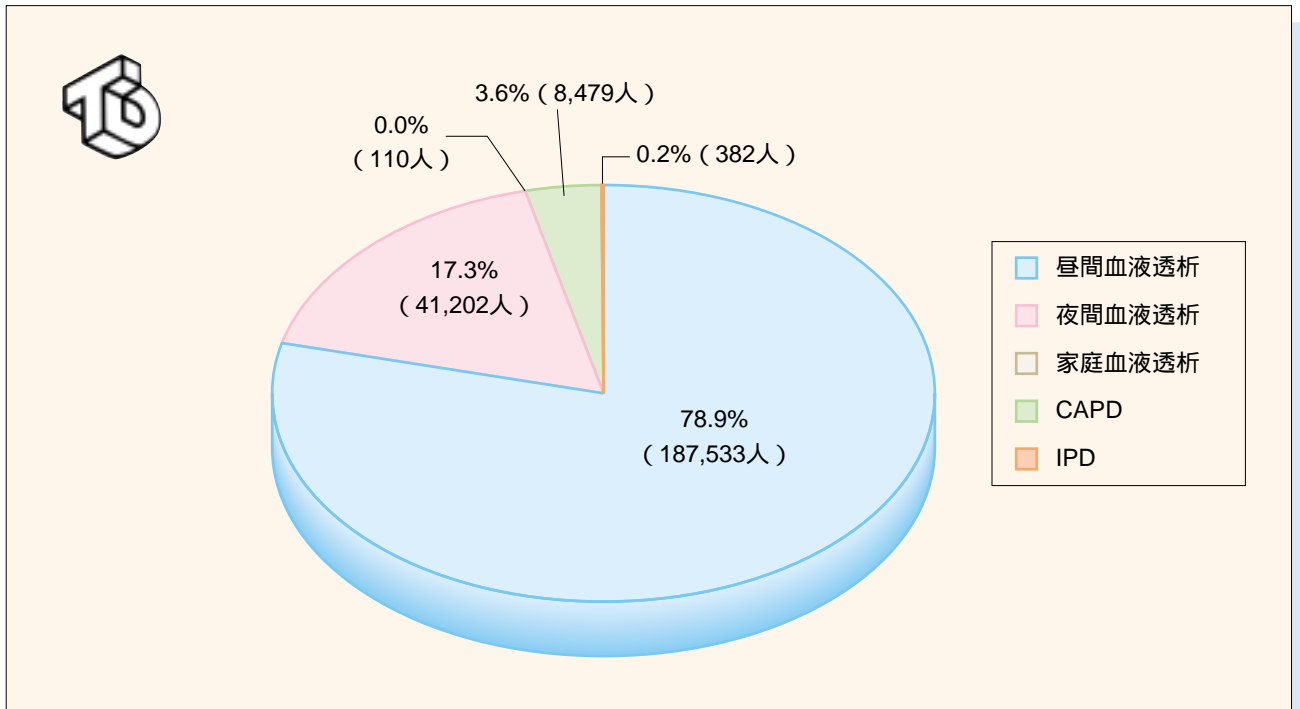


2) 患者数等

(5) 慢性透析治療の形態 (図表6)



解説

慢性透析治療の形態

2003年末における慢性透析患者の治療形態は昼間の血液透析が78.9%を占め、夜間血液透析が17.3%となります。CAPDは全体の3.6%であり、CAPDは昨年度と同様に、減少傾向が認められ全体の4%を割ることになりました。IPDは昨年より86人増加しています。家庭血液透析の患者数は全国で110人、CAPD患者数は8,479人です。家庭血液透析は愛知県38人、大阪府39人が主要な実施府県で、家庭透析の患者数は前年度より11人増加しています。